

中学校教頭

拝啓

突然お手紙を差し上げる失礼をお許してください。

私はアメリカのカリフォルニア州サ [redacted] 中学校で日本語を指導している田中理恵と申します。 [redacted] 中学校の [redacted] 先生とは日米国際交流推進のためにペンパルプロジェクトの意義などの情報交換を度々行っています。

本校は現在日本の中学校2校と交流を行っています。交流内容は手紙やカードの交換、オンラインでのアンケート、ビデオレター交換などです。本校の生徒は日本語学習者、日本での交流校の生徒は英語学習者ですので、日英バイリンガルでの交流を行っています。自分が学習している言語でのやりとりが成立した喜び、海の向こうの同年代の子達が自分の母国語を一生懸命に勉強している姿を見る嬉しさ、実際の同年代の子達から直接聞く異文化の話の面白さ、普段あまり手にすることのない手紙の新鮮さ、生徒達が手紙やビデオを受け取った時の歓喜の姿は何度見ても感動します。また、教室での活動に困難を抱えている生徒達も、海の向こうの友達にいろいろ伝えたい、理解したいという気持ちで、辞書を片手に真剣に手紙を書いたり読んだりしている姿は大変微笑ましいです。今年、中学生を日本に連れて行きましたが、みんな声を揃えて交流校を訪問してペンパルに会いたいと言っていました。時間の関係で実現しませんが、ペンパルプロジェクトを通して生徒達の学習意欲と興味関心を高めることができたことを確信しました。

高校でペンパルプロジェクトを行っている学校は多いと思いますが、中高両校で教鞭をとった経験から、英語教育がはじまったばかりの中学校でこそペンパルプロジェクトを進めるべきだと思っています。授業で習ったことを実際に使う機会を与えることで、今後の英語学習への意欲もぐんと違ってくると思います。

ペンパルプロジェクトの件で何か不明な点などがございましたら、いつでもお問合せ下さい。
[redacted] 中学校でのますますの英語教育の充実をお祈り申し上げます。

敬具

[redacted] 中学校



[redacted] Middle School

[redacted] .edu